



古里の香り懐かしく

130人が集い思い出語り合う

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が六月十八日、中野区のサンプラザを会場に開かれました。今年で二十一回目を迎える同会には、百三十人が出席。町からも沼崎喜一町長をはじめ職員五人、町議会からは昆暉雄副議長、さらに山田町商工会の阿部幸栄会長が参加しました。総会終了後には、「懇親交流の集い」が開かれ、会場のあちこちで談笑の輪ができるなど、参加者は年に一度の同郷人同士の交流を楽しんでいました。

今回は役員の変更も行われ、新会長に佐々木道義さんが就任しました。

続いて、沼崎喜一町長が町の近況を報告。「ふる里会の皆さんには、多大

総会では堀合辰夫会長が「皆さんのご協力により、同会も今年で二十一回目を迎えることができました。二十年という節目

を迎え、今回で会長を交代することとしました。今後とも、これまで以上のご支援をお願いしたい」とあいさつ。その後、平成十七年度の事業報告や本年度の事業計画などが審議され、原案通り承認されました。また、

新会長就任のあいさつ

ふる里山田同郷の会
会長 佐々木道義



このたびの総会で4代目会長に任命されました佐々木道義です。この会も初代萬藤五郎会長、2代目田代英雄会長、3代目堀合辰夫会長と、21年間の歴史を重ねてまいりました。ふる里会も世間の風潮には逆らえず、会員層が高齢化しております。年1回の集いでもあり、老若男女が一同に会して心に残る企画をし、皆さんが楽しかったと思える会づくりを考えております。山田町とふる里会発展のため、精いっぱい努力したいと思いますので、皆さまのご協力とご指導をよろしくお願い致します。

なご支援をいただき感謝申し上げます。岩手県内でも市町村合併が進み、五十七市町村が三十五市町村になりました。本町においてさまざまな議論を繰り返した結果、当面自立の方針をとることを決定しました。団塊の世代の皆さんの将来住む場所について、全国的な話題になっていますが、皆さんにはできれば古里である山田に帰ってきて、町の力になっていただきたい」と述べました。

総会終了後の「懇親交流の集い」は、昆暉雄副議長会副議長の乾杯の音頭で幕が開け、参加した皆さんは古里を懐かしみながら、心行くまで思い出話に花を咲かせていました。会場では物産販売や特産品が当たる抽選会が行われ、参加者の皆さんは古里の香り漂う品々に満足の様子。地区ごとに記念撮影を行った後、来年の再会を約束し、会場を後にしました。

参加者にインタビュー

50年ぶりにいとこと
再会しました



東京都板橋区
岩野智保子さん (71歳)
〔大浦出身・旧姓山崎〕

今回妹に誘われて、初めてこの会に参加させていただきました。このような会があるなんて、まったく知らなかったです。18歳のときに上京して以来、50年ぶりにいとこや親戚に再会し、とても楽しい時間を過ごすことができました。子供のころ半崎の浜辺で遊んだ古里の記憶が思い出されて、懐かしく感じました。来年もぜひ参加したいと思います。



懐かしい顔に再会すれば、思わず山田弁が飛び出します



物産販売では、袋いっぱい古里の味を買って帰りました



抽選会で町の特産品が当たり、当せん者は笑顔で受け取っていました

古里への便り⑭



ふる里山田同郷の会幹事
埼玉県さいたま市
小川 徹弘さん (64歳)
〔織笠出身〕

山田町の皆さま、こんにちは。上京して早いもので四十六年の歳月が流れ、年齢を重ねるごとに古里山田が懐かしく、山田の生まれであることを誇りに思うようになりました。

わたしは、埼玉県さいたま市にある埼玉県市場で水産仲卸業を

営み、三陸方面の水産物も取り扱っています。特に山田湾のカキ、ホタテ、サケなどには特別な思い入れがあります。

今、全国的に食に対する安全・安心の要望が強く、特に首都圏ではその傾向が顕著です。汚い、暗い、危険の代表的存在であった水産市場は、明るく清潔で、安全な市場に変わりつつあります。食の安全確保のために衛生管理システム「ハサップ方式」を導入し、水産物の監視体制も強化されました。市場内に保健所の監視員が常駐し、入荷する水産物などを常時検査し

ています。

平成十四年度の生食用殻付きカキはノロウイルスの検出が多く、中でも山田湾産のものが多かったという、残念な結果でありました。あたらな生カキを育てるため、農水省はノロウイルスがカキに蓄積される経路の解明に乗り出すことを決定したようです。

風光明媚な自然、きれいな生き生きとした海、良い環境を残すための下水道の整備、河川の汚染防止、森林整備、町民の意識改革と課題は多いと思いますが、町全体で正面から取り組み、自信を持つ

て山田町の水産物を継続して出荷できることを期待しております。

山田町で生まれた元総理鈴木善幸先生の功績と遺徳をしのんで鈴木善幸杯ゴルフ大会を東京岩水会、ふる里山田同郷の会、宮古会が中心になって年二回開催し、今年で回を重ねること九回。来年は十回の記念大会です。山田町の方々も参加できればうれしいですね。

合併しないで伝統と文化を守り、お年寄りから子供まで安心して暮らせる山田町を誇りに思いながら、皆さまのご健康と町のさらなる発展をお祈り申し上げます。